

リウマチセンターだより

当センターとの連携施設のご紹介です

*** 第7回目 那須高原クリニック ***

当院（那須高原クリニック）は、2005年10月1日に那須塩原市にて開院し、本年2025年10月をもって20周年を迎えることとなりました。

微力ながらプライマリーケアを通じて地域医療に貢献できればとの思いで診療を開始いたしましたが、同時に、これまで専門的に研鑽を積んできた関節リウマチおよび膠原病診療の経験を地域医療の現場で生かしたいという強い志もありました。

生物学的製剤やJAK阻害薬の登場により、関節リウマチ治療は、いわゆるパラダイムシフトと称される劇的な進歩を遂げてきました。その結果、近年では関節リウマチ患者のQOLおよび生命予後は大きく改善しています。

このような背景の中、リウマチ・膠原病内科における病診連携である「栃木リウマチコミュニティ」に参加させていただき、開業医であっても安心して専門診療を行える環境を整えていただきましたことを、関係する諸先生方ならびにスタッフの皆様に、心より感謝申し上げます。

第67回日本リウマチ学会総会・学術集会（福岡）2023年4月24日～26日



現在、当院に通院されている患者さんの約半数が、関節リウマチおよび膠原病の患者さんです。患者さんごとに病態や家庭環境、社会的背景が異なる中で開業医としての特性を生かし、患者さんに最も近い立場から個々のニーズに応じた診療を心がけております。

関節リウマチ診療の進歩は目覚ましく、当院においても職員一同研究会や勉強会に積極的に参加してまいりました。さらに、関節エコーの導入や、日本リウマチ財団登録リウマチケア看護師の育成にも取り組んでおります。2019年からは、簗田清次先生に非常勤医師として当クリニックの診療に従事していただく傍ら、研究に関するご指導も賜り、当院通院患者を対象とした臨床研究を実施いたしました。その成果として、「関節リウマチ患者における新型コロナウイルスmRNAワクチン接種後の抗体産生の低下」について、第66回および第67回日本リウマチ学会総会にて発表を行い、英文原著論文[1]として公表することができました。

今後も時代の変化に遅れることなく、最新の知見に基づいた診療を継続していきたいと考えております。

最後に、栃木リウマチコミュニティのさらなるご発展と、池田 啓教授をはじめとするスタッフの皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。このたび、このような貴重な投稿の機会をお与えいただきましたことに深く御礼申し上げます。

那須高原クリニック
院長 佐藤 英智

英文原著論文 [1]

1. Sato H, Nagatani K, Minota S. Diminished antibody response to SARS-CoV-2 in rheumatoid arthritis compared with metabolic disorders following the primary series of vaccinations and its recovery with a booster: a single-center prospective observational study. Int J Rheum Dis. 2024;27: e15203.

リウマチ教室のお知らせ

- 【日時】 令和7年5月30日（土）14:00～16:00
【会場】 研修室ゆうがお（肉のふきあげ雅 2階）
【参加費】 無料（参加申し込みは不要です）

関節リウマチの理解を深め、より良い療養を行っていただくために
リウマチ教室を開催いたします。どなたでも参加できます。

